

平成23年度 第1回(財)北海道農業開発公社入札監視委員会審議概要

開催日 平成23年 4月28日(木)
場 所 財団法人 北海道農業開発公社 5階会議室
委員長 伊藤 隆道 (弁護士)
委 員 井上 京 (北海道大学 准教授)
委 員 太田 武司 (公認会計士、税理士)

議事等

- 1 入札監視委員会 委員長選出について
- 2 報告事項
 - (1)平成22年度入札結果に関する状況について
 - (2)平成22年度下期(10月~3月)入札結果に関する抽出案件について
- 3 審議事項
 - (1)平成22年度下期(10月~3月)に関する抽出案件の審議について【総件数6件】
 - 建設工事【制限付一般競争入札】
 - ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)広尾地区 第53工区
 - イ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)湧別地区 第52工区
 - ウ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)沼川北部地区 第52工区
 - 建設工事【工事希望型指名競争入札】
 - ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)湧別地区 第53工区
 - 建設工事【指名競争入札】
 - ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)ひだか中部地区 第2工区
 - 委託業務【指名競争入札】
 - ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)沼川北部地区 第52委託

【審議概要】

委員からの意見・質問等、それに対する回答・説明等の概要は次のとおり。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<p>制限付一般競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加予定者から設計図書等に関する質問があり、その内容を精査した結果、予定価格が変更になったとのことだが、このようなことはよくあるのか。 ・予定価格が公表されているが、予定価格が変更となることを、入札参加予定者に周知しているか。 ・この落札率が71.7%というのは、かなり低価格での入札ではないかと思われるが、この工事について特殊な事情があったのか。それとも、入札参加者が多いということで低くなったのか。そのことについて特に分析等は行っていないのか。 ・低入札の理由等を調査し、最低価格の入札者を落札者と判断したと思われるが、落札者の収益性を考慮した場合は果たして妥当なのか、若しくは予定価格との乖離について設計上の問題はないのか、そういう観点からはどうか。 ・制限付一般競争入札参加申請者資格審査表の備考欄に、「22年7月1日以降再審査」という記載のある申請者がいるが、どういうことか。 ・施工中の管理、監督を厳重にするといった事はされているのか。 ・制度に関するものかもしれないが、入札説明書における予定価格の記載方法で、確定額で記載されている工区と概算額で記載されている工区があるが、この取扱いの違いは何か。 <p>工事希望型指名競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧縮梱包機というのはどのようなものか。先ほどの説明ではサイレージと配合飼料の混合物を圧縮して梱包する機械ということであったが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度については、本件ともう一件の計2件でありました。 ・入札参加予定者に対し、予定価格の変更に伴う通知をしております。 ・審議資料の低入札価格調査制度に係る落札理由以外で、この工事が一般的な市場単価より安価な見積りができた分析等は行っておりませんが、工事内容、工事規模等を踏まえ、積極的に受注しようとしたと考えられます。 ・本件の「入札価格内訳書」における設計価格と入札価格の対比としては、直接工事費で78.0%の比率となっています。また、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の諸経費については、53.1%でございました。調査結果については、いずれも契約の内容に適合した工事が履行されると認められましたので、最低価格の入札者を落札者として決定しております。 ・こちらの申請者は事業譲渡に関する届出書の提出がありました。この届出に対し、公社は資格の再審査を行っており、その再審査に係る資格の適用月日を記載してあります。 ・調査対象者を落札者と認めた場合、工事監督体制の強化等の措置を取るよう支所に通知しており、重点的な監督業務を行っております。 ・入札説明書における予定価格の取扱いは、公社の制限付一般競争入札実施要領等に基づき、予定価格の額が3億円以上の工事については予定価格を確定額で公表しています。一方、予定価格の額が3億円未満の工事は、平易な工事の特例として取扱っており、公表当初の予定価格は上位2桁を有効数字とし3桁以下を切り捨てとする概算額で公表し、その確定額は入札参加資格審査結果と同時に別途公表しています。 ・サイレージと配合飼料を混合したものを、ビニール袋に圧縮梱包し真空パックにする機械です。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<ul style="list-style-type: none"> ・本工区は技術資料を提出した者が1者であったことから随意契約を行ったと説明があったが、審議資料では入札金額欄に金額の記載がある。入札なのか。 ・本工区の落札率92.0%を、工事希望型指名競争入札の統計的な値として取扱うのはどのようなものか。 ・本工区のように、結果的に随意契約になるというのはどれくらいあるのか。 ・年度初めに入札参加希望を募ると、入札参加希望工種として手は挙がっているということだが、かなり特殊な工事なのか。 ・別件で技術資料の提出が3者からあった工区があるが、この工事内容としてはパイプラインミルカー、自動給餌機、バンクリーナー及び固液分離機ということで、各者とも参加希望しているように思われる。なぜ技術資料の提出を求めている者がいるのか。 <p>指名競争入札（委託業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者指名選考過程等一覧表の指名選考基準で、履行成績が良好とはどのような者か。 ・あえて、良好な者を選考しなければならない理由はあるのか。間口を広げるという観点から、履行経験だけではだめなのか。 ・例えば、履行成績で選考から外れてしまった者が、+d1、+d2、+d3の指名実績等で指名選考されることはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積合せを行っております。 ・本工区は、工事希望型指名競争入札の事務手続きの経過の中で結果的に随意契約となっており、この随意契約者が工事希望型指名競争入札の参加要件を満たす者であること等から、統計的には工事希望型として取扱っております。 ・平成22年度は1件です。 ・技術資料の提出依頼をした結果、1者のみの提出であるということは、特殊な技術、機器又は設備を必要とする工事であるとも考えられます。 ・ご質問の工区ではパイプラインミルカー、自動給餌機、バンクリーナー及び固液分離機の工事を予定しているのですが、この中の自動給餌機は分類的には飼料混合調整給飼施設であることから、飼料混合調整給飼施設を入札参加希望工種としていない者に対しては、技術資料の提出を求めておりません。 ・公社が事業主体として実施する事業の設計、測量、地質調査その他の工事に係る委託業務の履行成績が良好な者ということになります。 ・指名基準における履行成績での選考は、入札に参加して欲しいというよりは履行の確保を前提としています。競争性の確保も念頭に置きながらですが、出来る限り良好な者を選考したいと考えております。 ・同一業務ではありません。

注) 一部重複する確認事項等については除くものとする。

(2) 平成22年度公社入札契約制度に関する入札監視委員会の所管事務総括について

【意見の具申又は勧告】

(財)北海道農業開発公社入札監視委員会の運営に関する事務処理要領第8に基づく「意見の具申又は勧告」に関し、平成22年度の抽出案件に係る審議又は現地調査の結果から、入札・契約手続の運用状況等について、適切を欠くなど是正すべきことはなかったと判断する。

【再苦情の処理】

(財)北海道農業開発公社入札監視委員会の運営に関する事務処理要領第9に基づく「再苦情の処理」に関し、平成22年度の工事等における全案件について、再苦情の申立てはなかった。

4 協議事項

(1) 平成23年度入札監視委員会の活動方針について

ア 平成23年度建設工事・委託業務発注予定一覧

イ 平成23年度建設工事発注予定概要

ウ 平成23年度委託業務発注予定概要

エ 平成23年度入札監視委員会の活動方針(案)について

(2) その他

【次回入札監視委員会の開催について】

平成23年度第2回入札監視委員会の開催は、平成23年10月27日(木)北海道農業開発公社5階会議室で午後1時30分から行う。